巨樹・巨木林観察コースガイド

明治神宮

先人が思い描いた 100年の森の巨樹



お正月3が日に日本一の参拝者を集める東京・明治神宮。その境内はオオタカも営巣する自然豊かな森でおおわれ、都会の憩いの場として愛されています。

この森は、100年ほど前に人の手によって作られた人工の森です。当初目指したのは、100年以上の年月をかけて、この地に合った豊かな森を作っていくことでした。

森づくりにあたって作られた『明治神宮御境内林苑計画』でも尊重された「落ち葉を除去すると地力の減退につながる」という考え方を受け継ぎ、現在も歩道上の落ち葉さえも捨てることなく森に戻しています。

100年以上にわたって脈々と受け継がれる豊かな森への思いを感じることができる明治神宮の巨樹を巡ってみませんか。

【アクセス】

- ・JR山手線「原宿駅」より徒歩1分
- ・小田急線「参宮橋駅」より徒歩3分
- ・JR山手線「代々木駅 | より徒歩5分

 表参道ケヤキ並木の 終点

南門近くのケヤキ

幹周り 302cm 樹 高 15m 樹 齢 約60年



表参道駅付近から明治神宮の南参道までの表参道沿いには200本のケヤキ並木があります。並木の終点は明治神宮南門近くにあるケヤキ。戦後に植樹されたものですが、幹回りは3メートルを超える巨樹となっています。

4 生 ク

生命力あふれるクスノキの巨樹

タコ足

幹周り 703cm 樹 高 25m 樹 齢 約100年



タコを逆さまにしたような姿形から、 「タコ足」と呼ばれて親しまれている クスノキ。若い頃に幹の上部が枯れ、 残った枝がそれぞれ大きく生長した結果、 現在のような形になりました。100年の森 を象徴するかのような生命力あふれる巨 樹です。 2

神宮の森を始まりから 見ていた木

明治神宮の大椋

幹周り 575cm 樹 高 25m

樹 齢 300年以上(推定)



5

裏参道を見守る巨樹

北門脇のイチョウ

幹周り 337cm 樹 高 24m 樹 齢 不明



 3

関東地方のコナラ番付 3位の幹周り

巨樹銀座のコナラ

幹周り 474cm 樹 高 15m 樹 齢 不明



西参道沿いの芝生の広場は、たくさんの 巨樹が点在する明治神宮の「巨樹銀座」。 この中に、関東地方でも有数の幹回りを 誇るコナラがあります。100年の森に相応 しい、堂々とした樹冠もみどころのひと つです。

6

パワースポットとして 人気のご神木

夫婦楠

幹周り 366/317cm 樹 高 17m 樹 齢 約100年



本殿前左側に、まるで1本の木のように 樹幹を整えられた2本のクスノキがあり ます。大正9 (1920) 年の御鎮座当時に 献木された御神木で、縁結びや夫婦円満、 家内安全の象徴とされています。

明治神宮 先人が思い描いた100年の森の巨樹



「足」といっても 根じゃなくて 幹なんです!

【代々木の由来】

明治神宮の南参道沿いに、代々木の地名のもととなった「もみの木」があります。江戸時代、この場所には江戸の街の目印になるほどのモミの巨樹が立っていました。「代々この地には、もみの大木が育つ」ことから、「代々木」の地名がつけられたとのこと。現在のモミは、昭和27(1952)年に植えられたもので、巨樹まで育つのはまだ先のようです。

【巨樹・巨木林調査とは?】

環境省では、地上130cmの幹周りが300cm 以上の木を対象に、自然環境保全基礎調 査の一環として、昭和63年から「巨樹・ 巨木林調査」を実施しています。

巨樹・巨木林の情報は「巨樹・巨木林 データベース」ウェブサイトをご覧くだ さい。

(https://kyoju.biodic.go.jp/)

【全国巨樹・巨木林の会】

巨樹・巨木林にご関心のある方は、 「全国巨樹・巨木林の会」にアクセス! (URL:http://www.kyojyu.com/)

巨樹・巨木林の観察会、機関誌「巨樹・ 巨木林」の発行、「巨木を語ろう全国 フォーラム」の開催など、巨樹・巨木林 に関する活動を行っています。